

# 校長室からつぶやき・・・ 「ツイート」新聞



宇美町立宇美南中学校  
第36号  
文責 校長 熊本 寿美  
令和3年11月16日(火)

## CSフォーラム 「自助」「公助」「共助」命を守る・地域を守る防災教育

本校は、地域と共にある学校づくりの推進において、地域に貢献する人材の育成を目指しています。CSフォーラムにおいては、H30年度から地域と連携した防災教育に取り組んでいます。昨年度は、コロナ禍により学校のみでの活動でしたが、本年度は、宇美町町づくり課・校区コミュニティー・自治会長会・防災部の皆さまのご支援を賜り、地域の皆さま方と一緒に活動を行うことができました。

活動は、原田小学校6年生と共に各自治会での異年齢グループで行いました。宇美町役場危機管理課のご指導による『避難所設営体験活動』では、宇美町の避難所に設置されるパーテーションと段ボールベッドの設営を行い、互いに声をかけあって楽しく活動していました。生徒たちからは、「この経験が非常時にも役立つことになる。」「みんなと協力し合ってきた。仲も深まってよかった。」などの声が聞かれました。また、宇美町社会福祉協議会の『避難所におけるボランティア活動について』の講話では、グループワークでの意見交流が行われ、避難所でできるボランティアの具体的な内容について、自分は何ができるか、周りの人たちには何が必要か、の視点で考えておりボランティア活動への関心を高める機会とすることができました。「誰かのためにすることはすべてがボランティア。誰かのためにできることは何でもボランティア。誰かが必要としているからボランティアは生まれる。たとえ、それが一人のためであっても。」という講師の井手様からの言葉に、ボランティアの行動を踏み出す勇気をもてたのではないかと思います。地域の皆さまからも生徒たちへの温かな声かけをいただき、地域の子どもたちと一緒に活動し、触れ合う貴重な活動になったことを大変うれしく思います。

地域の力は子どもを育てる貴重な資源です。今後も地域とつながる活動の推進に努めてまいります。



講話・グループワーク「避難所におけるボランティア活動について」の活動の様子



体験活動「避難所設営体験活動（パーテーション・段ボールベッド）」の活動の様子

### 地域の方々の声

- 子どもと接する非常にいい体験をさせていただきました。子どもたちの真剣な取組の様子を目の当たりにし、地域の防災活動に必要な人材だと感じました。
- 知識だけでなく「やってみる」活動の経験が災害時に役に立つと思いました。小学高学年・中高生の力は、災害時の大きな力になってくると思います。積極的に自分で考え“動ける”子ども達になってほしいと思いました。
- 自ら危険を防ぐ行動をとる。高齢者・年少者・弱者を助ける行動を実行する。自分に何ができるかを常日頃考える習慣をつける。

「鍛えて・ほめて・励まして」 南中生のよさや頑張りが輝く学校づくり